令和４年度　大学の世界展開力強化事業　審査結果表

大　　学　　名	千葉大学	主な交流先	英国・ｲﾝﾄﾞ・ｵｰｽﾄﾗﾘｱ
事　　業　　名	グローバル地域ケア IPE プラス創生人材の育成（GRIP Program）		
海 外 の 相 手 校	レスター大学、シンビオシス国際大学、モナシュ大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、看護・介護の国際化に向けて、これまでの実績に加えて Universal Health Coverage を目標に看護・医薬系を中心とした GRIP(Global & Regional Interprofessional Education Plus Program)事業を推進する意欲的かつタイムリーな取組であるとともに、その展開に当たっても総合大学としての資源を活かし、生命科学に限らず、広く多様な専門家、エンジニアから行政官まで文理を問わず対象とする計画となっており、高く評価できる。

また、学生の支援体制についても亥鼻キャンパスでは、海外学生の受け入れに関連したサポートや文化的適応支援を行う学生ボランテイア団体が活発に活動しているため、学生主体の交流経験の実績があり、学生が共同学習を実施することについて期待が持てる。

一方で、四大学による事業推進にあたっては、綿密な運営体制が求められ、学事体制の違いについての相互のすり合わせも必要となってくるが、本事業ではどのようなガバナンスのもとに運営が実施されることになるか明確でない。また本事業推進にあたり高い語学力は必要不可欠である。オンデマンド学習やイングリッシュ・ハウスでの学び、英語の授業の倍増等、目標達成に向けたプロセスが掲げられてはいるが、相応の英語力獲得に時間がかかる場合の対処法等、更なる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。また、本事業は、補助期間終了後は自立的に事業を継続することが前提とされていることから、継続的かつ発展的に質保証を伴った事業を展開されたい。